

# 旧堀部家住宅

旧堀部家住宅は、犬山城城下から名古屋に通じる主要な街道である「名古屋往還」の外堀樹形を出た位置の東側にあります。

主屋、高塀、離座敷、渡り廊、土蔵、作業場から成り、これらの建物はいずれも国の登録有形文化財となっています。

主屋のつくりや建物の配置などには、武家住宅の面影が見られます。

## 住宅の特長

- ・敷地の周りに塀があり、前庭を持っている
- ・部屋の外側に入側もしくは廊下が設けられている
- ・各部屋の造りを微妙に変え、空間の階層性を実現している

※対比として、町屋の特徴を持つ旧磯部家住宅復原施設があります。(裏面地図参照)



## 交通アクセス

- 電車 名鉄名古屋駅から犬山駅まで快速特急で約25分、準急で35分
  - 徒歩 名鉄犬山駅もしくは犬山駅下車約10分
  - 車 小牧ICから約25分
  - 駐車場 無し
- ※公共交通機関等をご利用いただくか、キャッスルパーキング（大型バス可）等をご利用下さい。

## 開館時間：午後12時～午後6時

※午前利用・見学については、お問合せください。

## 休館日：毎週月曜日・火曜日（祝日の場合はその翌日）12/28～1/4

## 観覧料：無料

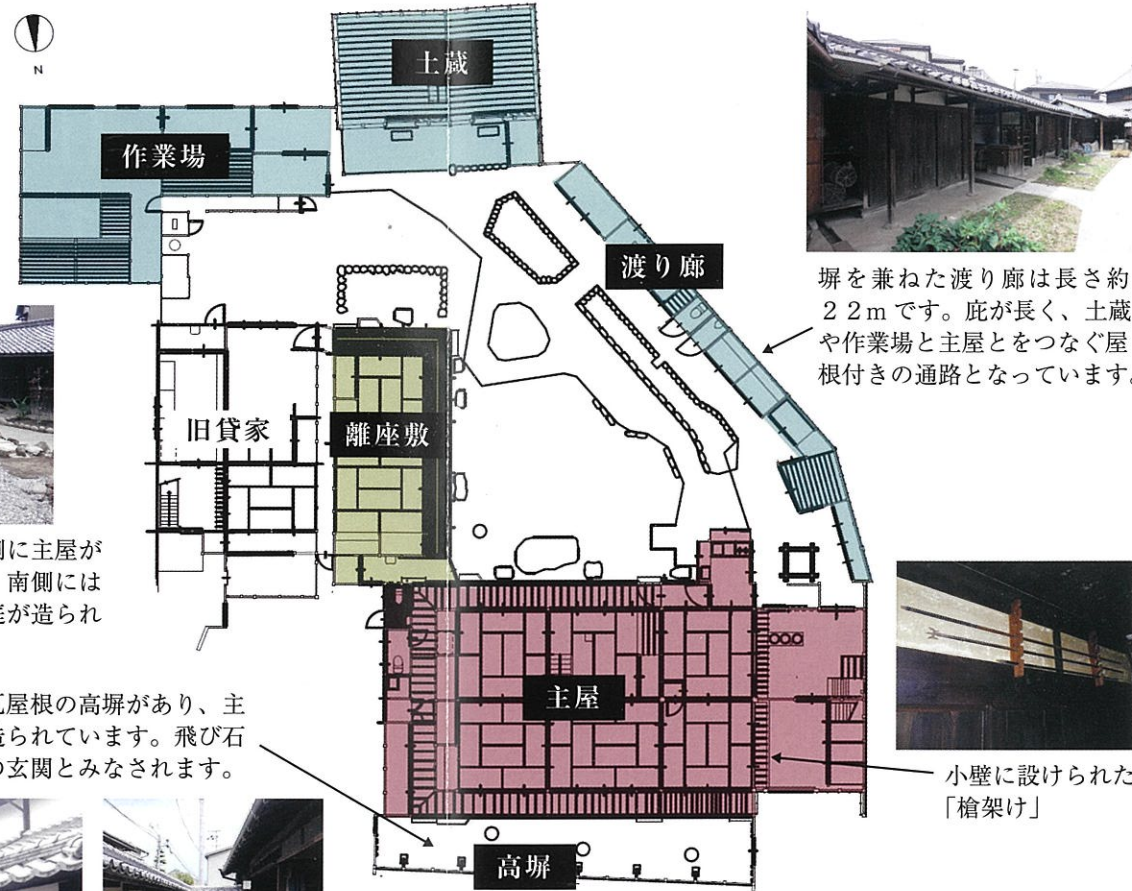
## 【管理・運営】

特定非営利活動法人  
古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク  
<http://niwasato.net/home>

※旧堀部家住宅は、自由な利活用の実現を目指し、民間による管理運営を行っています。



〒484-0084 犬山市大字犬山字南古券272番地  
☎ 0568-90-3744



塀を兼ねた渡り廊は長さ約22mです。庇が長く、土蔵や作業場と主屋とをつなぐ屋根付きの通路となっています。



小壁に設けられた「檜架け」



農家と同様に敷地北側に主屋が配置されていますが、南側には農作業場ではなく中庭が造られています。

北側の道路に面して瓦屋根の高塀があり、主屋との間には前庭が造られています。飛び石や灯籠が配され、客の玄関とみなされます。



■ 明治16年築 ■ 明治26年築 ■ 大正期築

登録有形文化財：主屋・離座敷・渡り廊・土蔵・作業場・高塀